LIXIL　デザイナーズパーツ門扉枠　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。 ●製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

警告

●門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。
特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。

注意

●当社のデザイナーズパーツを使用して製作する場合は、強度や安全性について、十分に検討、確認の上製作してください。
製作されたものの責任は設計・製作されたお客様に帰属し、当社の責任外となります。
●デザイナーズパーツの使用にあたっては、十分な強度を確保できるように、使用目的に合った部材を選択してください。
●商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●指定寸法は必ず守ってください。強度低下の原因になります。

ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取扱説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取扱説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

注 意

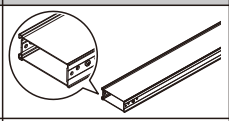
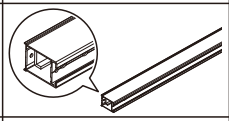
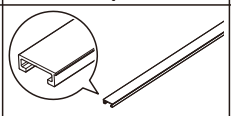
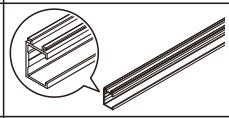
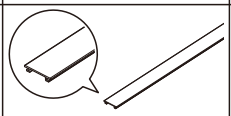
●外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
●施工終了後は開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。強度低下の原因になります。
●製品の改造は絶対にしないでください。強度低下または怪我の原因になります。
●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。強度低下または怪我の原因になります。

ポイント

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
・形材の切断面は露出すると手などを切るおそれがあります。露出しないようにするか面取り加工を施すなど、使用中に危険のないよう処理してください。

■梱包明細表

【1】縦枠セット

名　　称	略　図	員 数
合掌框		1
吊元框		1
縦枠取付部材		2
縦枠		2
縦枠カバー		2
【1-1】φ5×90ナベタッピンネジ2種G=45		8
【1-2】 φ4×13ナベドリルネジ		12

【2】横枠セット

名　　称	略　図	員 数
上下桟		2
上下桟カバー		2

【3】部品セット

名　　称	略　図	員 数
合掌框キャップ(上)		1
合掌框キャップ(下)		1
吊元框キャップ(上)		1
吊元框キャップ(下)		1
上ヒンジ		1
下ヒンジ		1
ヒンジ裏板		2
ヒンジキャップ		2
ヒンジカバー		2
ロック付落し棒		1
落し棒受け		2
プッシュボタン ※1		8
【3-1】M4×10トラスネジ		8
【3-2】φ4×10サラタッピンネジ1種D=6		7
【3-3】φ4×8トラスタッピンネジ3種		4
取付説明書〈A540〉	−	1

【4】戸当り

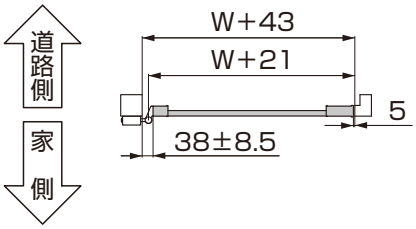
名　　称	略　図	員 数	
		H12 H14	H16
戸当り		1	1
戸当り押さえ		3	4
【4-1】φ4×12サラタッピンネジ3種		3	4

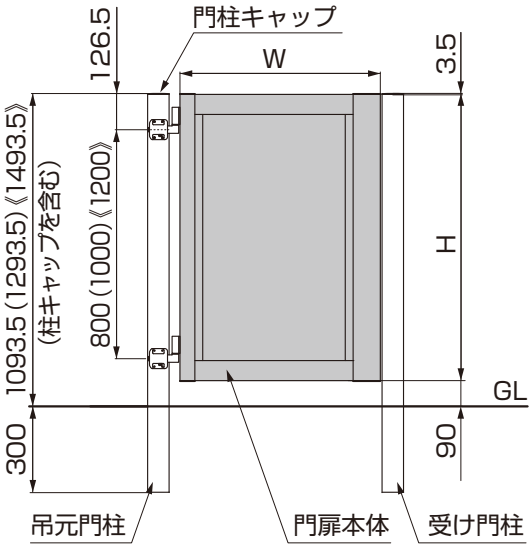
A540_201510F

1. 基本寸法図と各部名称

1-1 基本寸法

（1）片開き



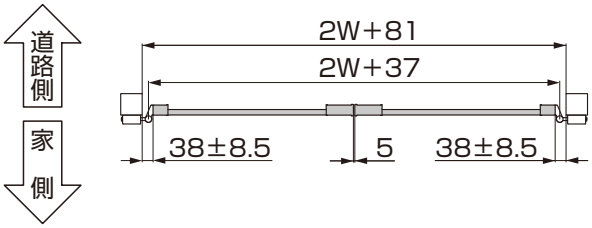


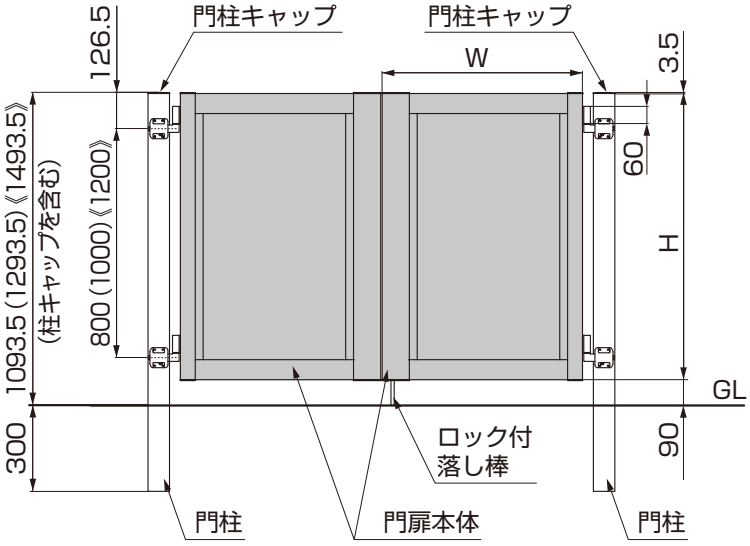
補足

- 寸法はW07･H10の場合を示し、（　）内寸法はH12、《　》内寸法はH14の場合を示します。
- Wは扉の横幅寸法を示します。

呼　称	W	H
07-10	700	1000
08-10	800	1000
09-10	900	1000
07-12	700	1200
08-12	800	1200
09-12	900	1200
07-14	700	1400
08-14	800	1400
09-14	900	1400

（2）両開き





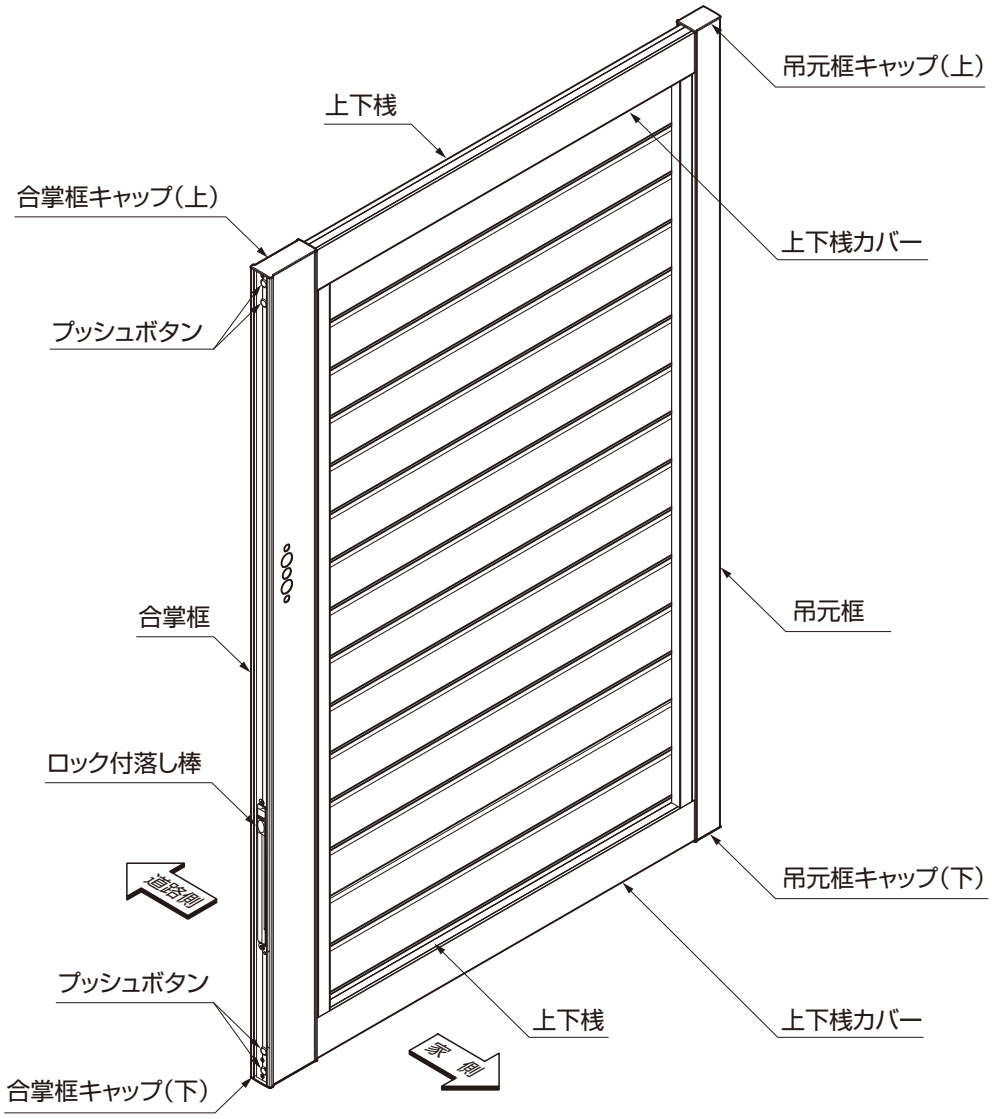
補足

- 寸法はW07･H10の場合を示し、（　）内寸法はH12、《　》内寸法はH14の場合を示します。
- Wは扉の横幅寸法を示します。

呼　称	W	H
07-10	700	1000
08-10	800	1000
09-10	900	1000
07-12	700	1200
08-12	800	1200
09-12	900	1200
07-14	700	1400
08-14	800	1400
09-14	900	1400

1-2 各部名称 ※図は左吊元時を表しています。

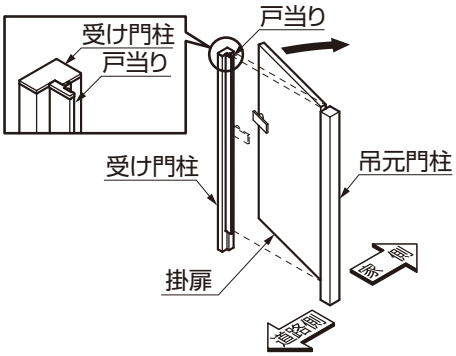
（1）横張りタイプ



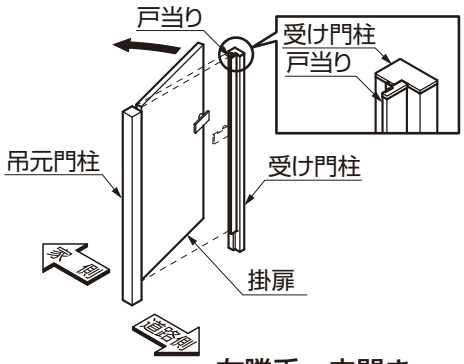
1.（つづき）

1-3 部品配置

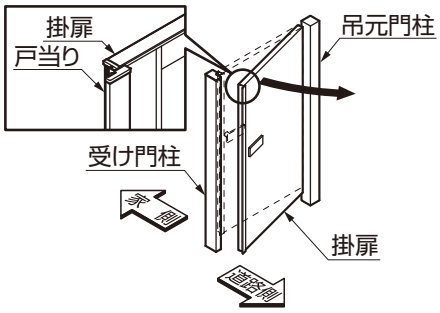
（1）片開き



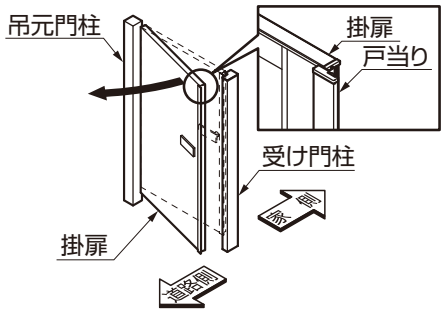
右勝手・内開き



左勝手・内開き

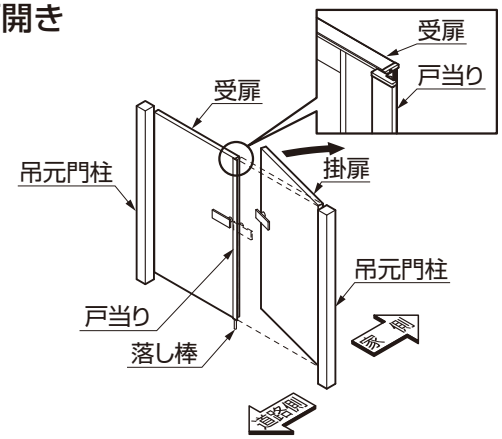


右勝手・外開き

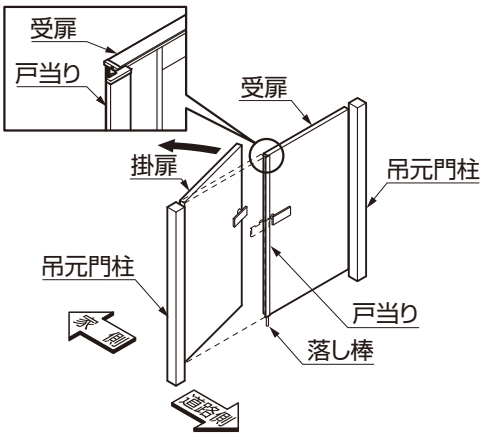


左勝手・外開き

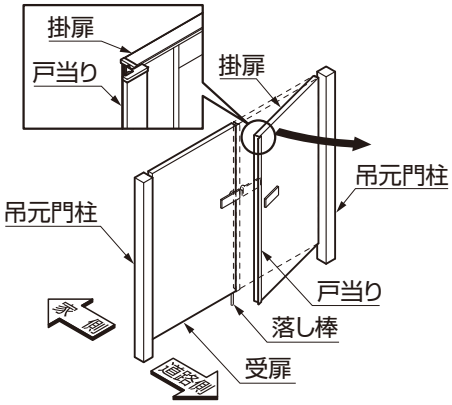
（2）両開き



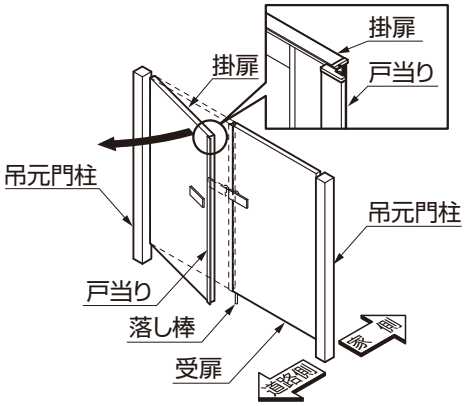
右勝手・内開き



左勝手・内開き



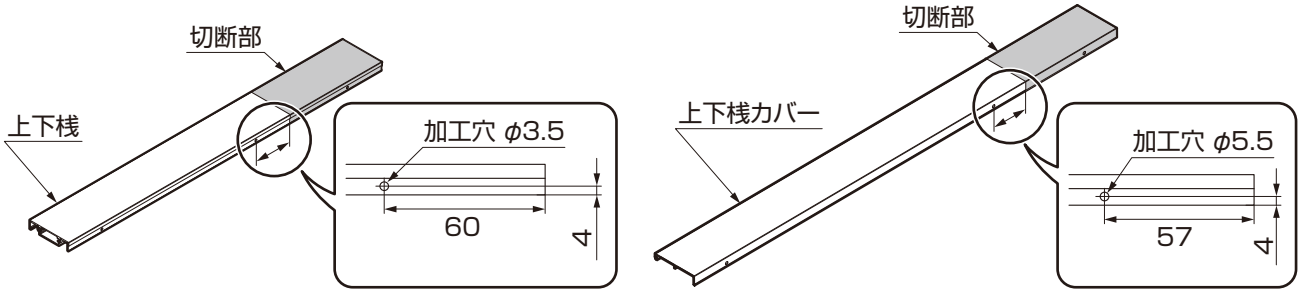
右勝手・外開き



左勝手・外開き

A540_201102A

2. 上下桟、上下桟カバーの切断・加工　※間口を切詰める場合の作業です。



①間口に合わせて、上下桟と上下桟カバーを切断してください。
②切断部が穴加工位置に達した際は、指定の寸法でそれぞれ下穴をあけてください。

ポイント

●扉の横幅寸法を350mmまで仕上げることが可能です。

3. 横張りタイプの組付け　※図は右吊元時を示します。

3-1　門扉枠の組み立て

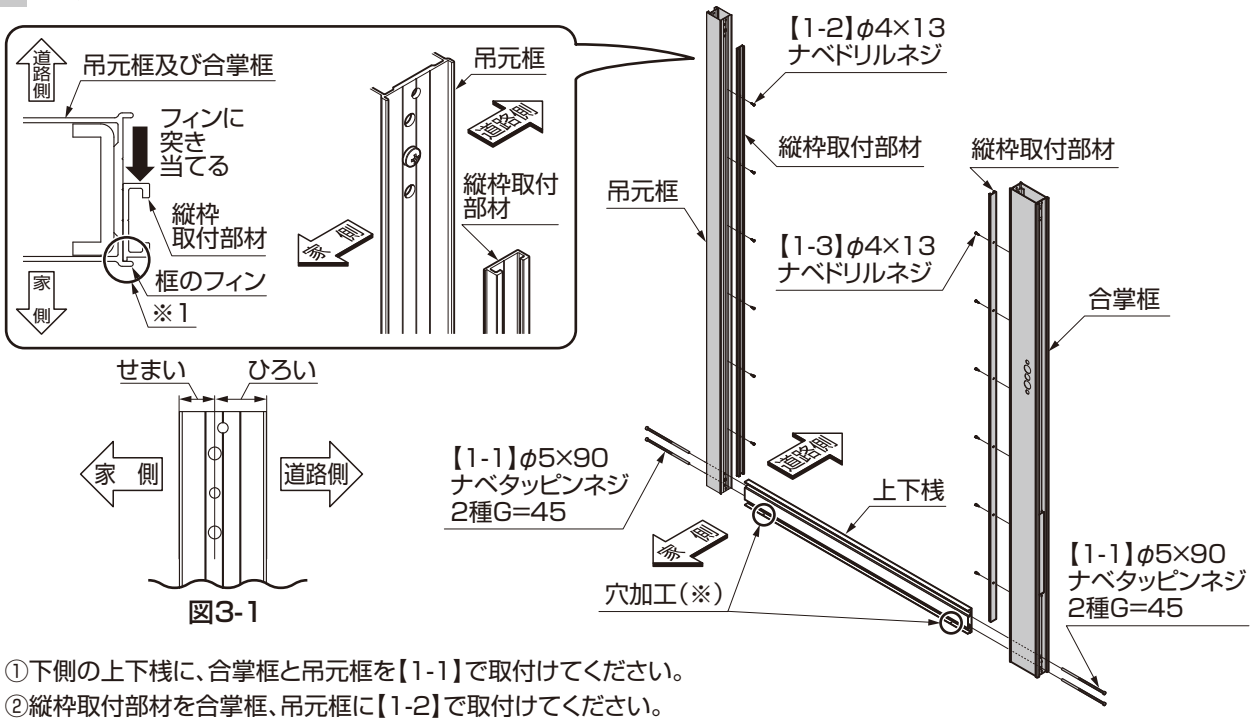


図3-1

①下側の上下桟に、合掌框と吊元框を【1-1】で取付けてください。
②縦枠取付部材を合掌框、吊元框に【1-2】で取付けてください。

ポイント

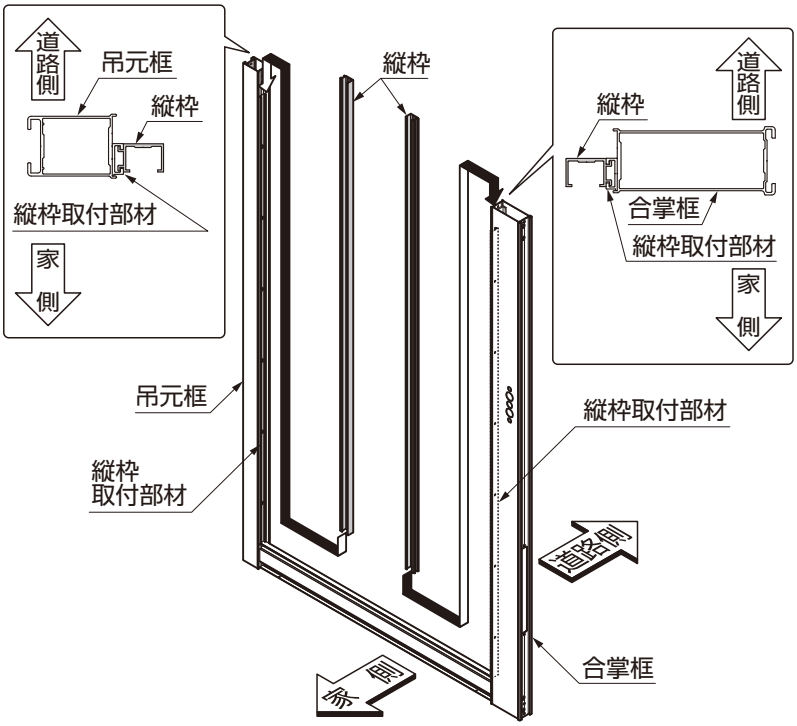
●上下桟を組付ける際、ドライバーの勢いが強すぎるとネジ頭が飛んでしまう恐れがある為、ゆっくりと慎重に取付けてください。
●縦枠取付部材は、上下桟に突き当てて取付けてください。
●縦枠取付部材は、框のフィンに突き当てて取付けてください。（※1）
●上下桟は穴加工が下になるよう組付けてください。（※）

補 足

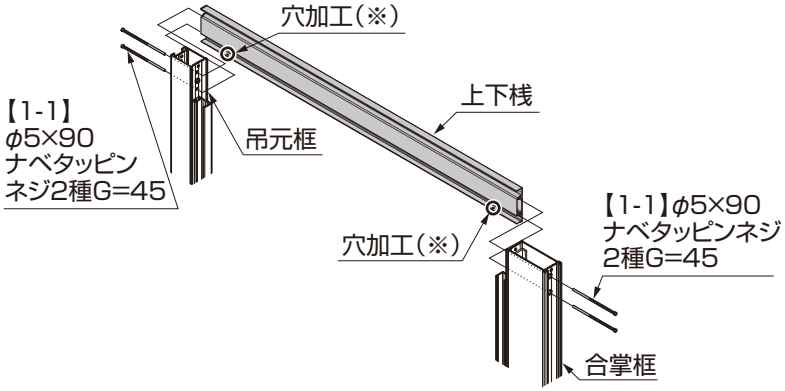
●組付けは合掌框側から行うと、左右を間違えにくいです。

A540_201503E

3.（つづき）



③縦枠を縦枠取付部材に、上側からスライドさせて取付けてください。

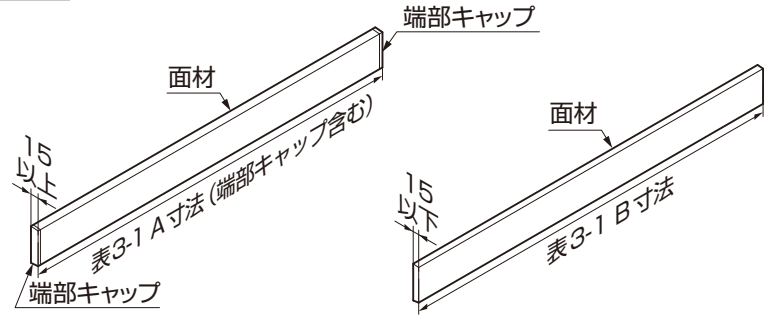


④上側の上下桟を合掌框と吊元框に、【1-1】で取付けてください。

ポイント

●上下桟は穴加工が下になるよう組付けてください。（※）

3-2 面材の切断



厚さ15mmを超える面材の場合　　厚さ15mm以下の面材の場合

図3-2

①面材を表3-1を参考に切断してください。

ポイント

●厚みが15mmを超える面材の場合は、面材の端部キャップの厚み分を合わせて、表3-1 A寸法となるように切断してください。（図3-2参照）

●間口を切り詰めた場合は、面材を表3-1の切断長から切り詰めた分、さらに切り詰めてください。

表3-1

呼　称	切断長 A寸法	切断長 B寸法
W700	553	555
W800	653	655
W900	753	755

注 意

●厚さ15mmを超える面材には安全のため必ず端部キャップをキャップ接着剤で取付けてください。

A540_201102A

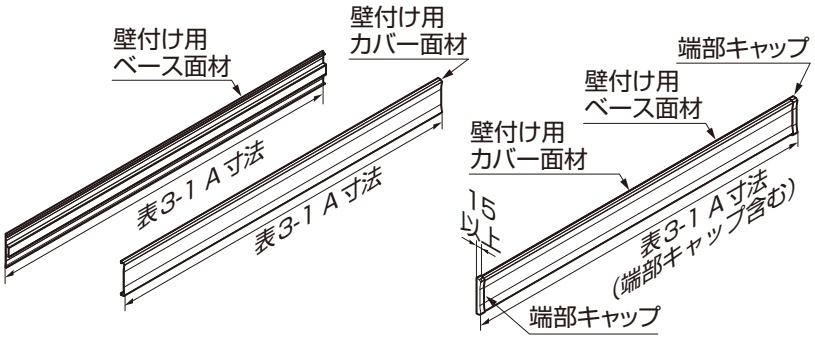


図3-3　壁付け面材の場合

ポイント

●厚さ15mmを超える壁付け面材は、切断後、ベース面材とカバー面材および端部キャップを取付けた状態にしておいてください。（図3-3参照）

3-3 面材の張り付け

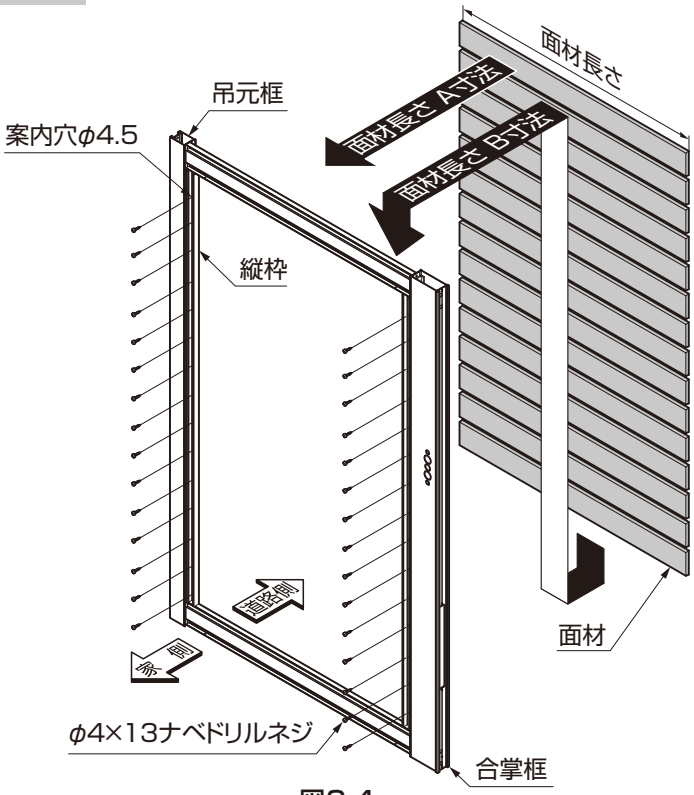


図3-4

①面材を取付ける際は縦枠及び上下桟の取付ける位置のV溝に案内穴φ4.5をあけてください。

②面材を門扉枠にはめてください。

ポイント

●上下端部には必ず幅85mm以上の面材を張り付けてください。（図3-5参照）
●面材長さがA寸法の場合は道路側から、B寸法の場合は上から面材をはめて、取付けてください。（図3-4参照）
●面材と框とのすき間が、左右均等になる位置で固定してください。

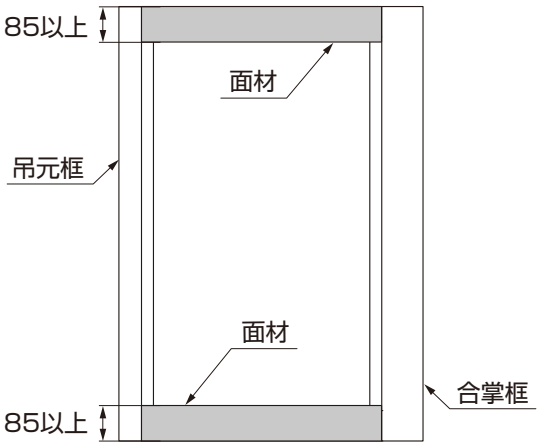


図3-5

③面材を案内穴に沿って縦枠と上下桟に取付けてください。

3.（つづき）

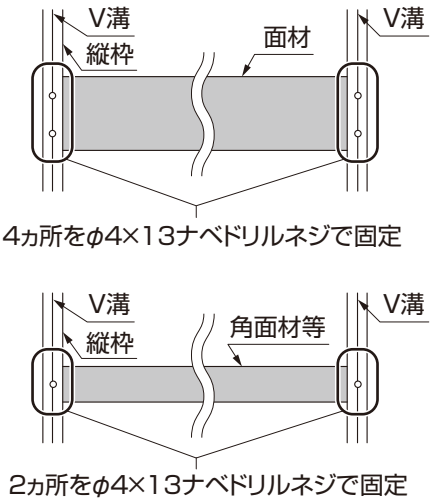


図3-6 面材の固定の仕方

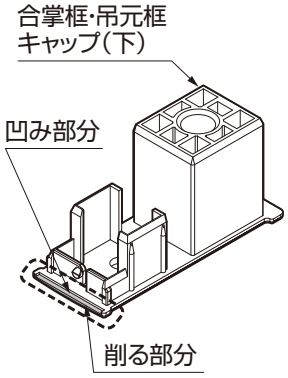


図3-7　面材と框キャップが干渉する場合

ポイント

- 門扉枠に面材を張り付ける際は面材1本に対し、4ヵ所でネジ固定してください。しかし角面材等、幅が狭くネジ固定場所が取れない面材に限り2ヵ所で固定してください。（図3-6参照）
- 全面張りを行う際、面材の寸法バラツキにより面材と框キャップが干渉する場合があります。その際は框キャップ（下）の凹み部分を削って門扉枠に面材を収めてください。（図3-7参照）

3-4　壁付け面材の張り付け

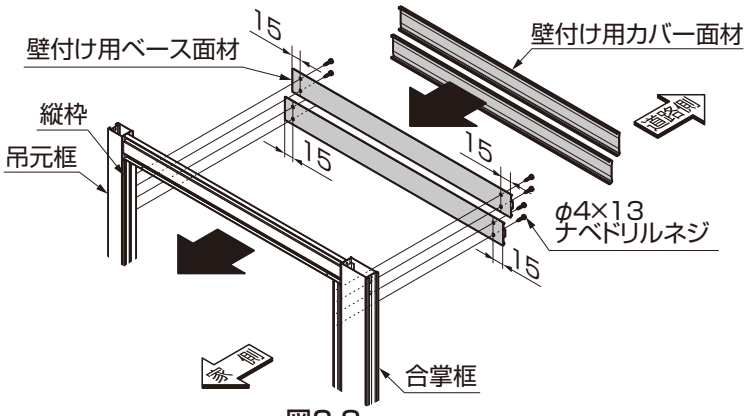


図3-8

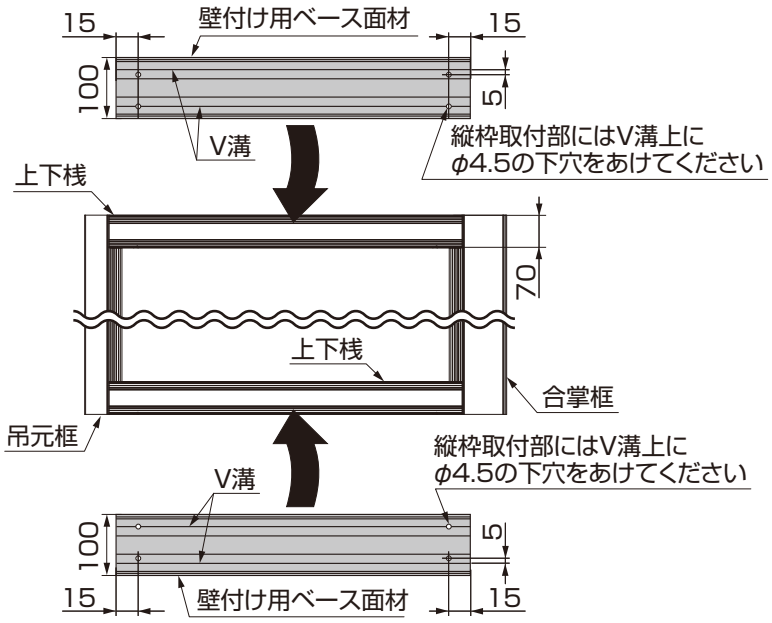


図3-9

①壁付け用ベース面材のV溝にφ4.5の下穴をあけてください。

ポイント

- 幅100mmの壁付け用面材を上下桟に張り付ける際、図3-9を参照して下穴をあけてください。

②壁付け用ベース面材を門扉枠にはめてください。

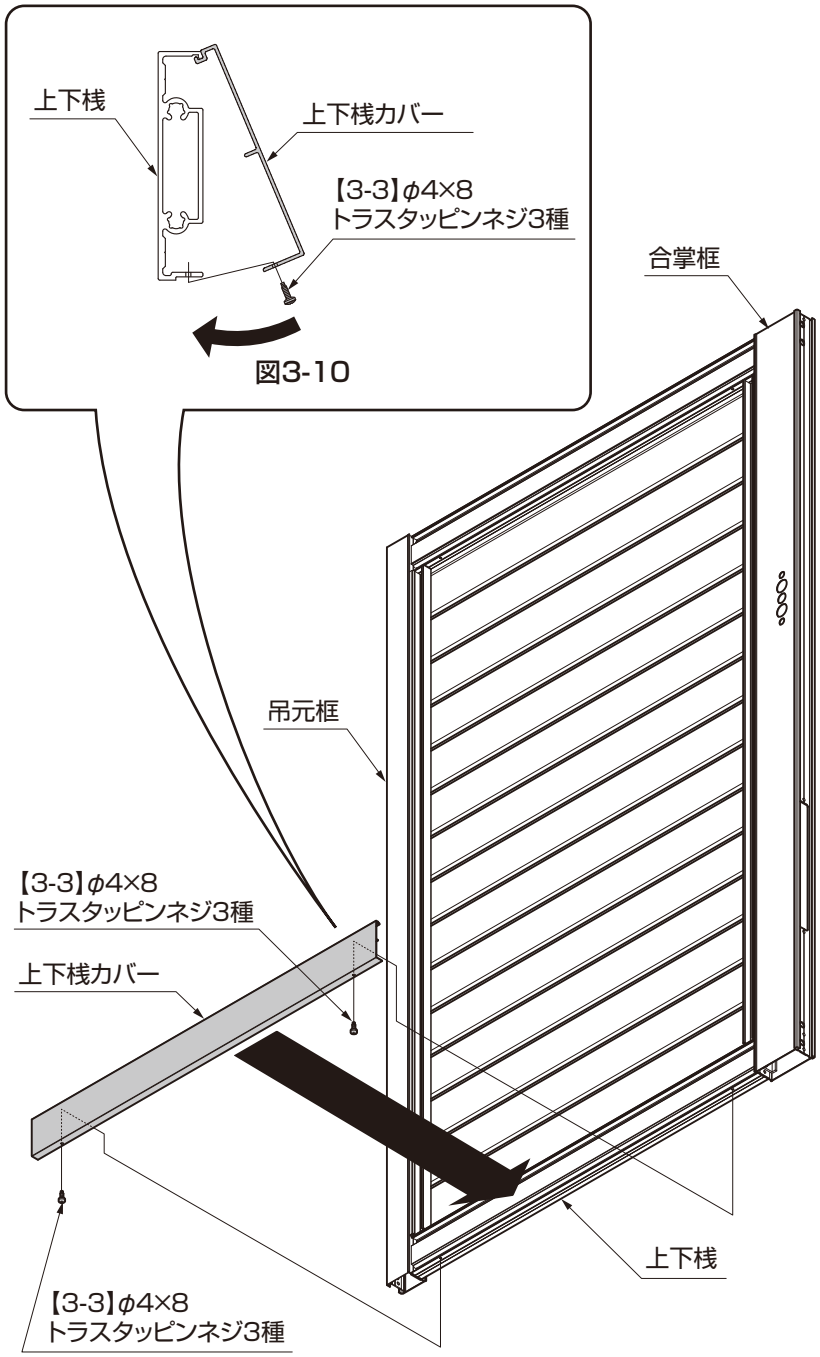
③壁付け用ベース面材を下穴にそって縦枠と上下桟に取付けてください。（図3-8参照）

ポイント

- 壁付け用ベース面材と框とのすき間が左右均等になる位置で固定してください。
- 厚さ15mm以下の壁付け用面材は隣り合う面材と5mm以上離して取付けてください。
- 厚さ15mmを超える壁付け面材は「3-3 面材の張り付け」を参照し、家側からネジ止めしてください。

④壁付け用カバー面材を門扉枠にはめてください。

3-5 カバー・部品等の取付け



①下側の上下桟に、上下桟カバーをはめ込んで【3-3】で取付けてください。（図3-10参照）

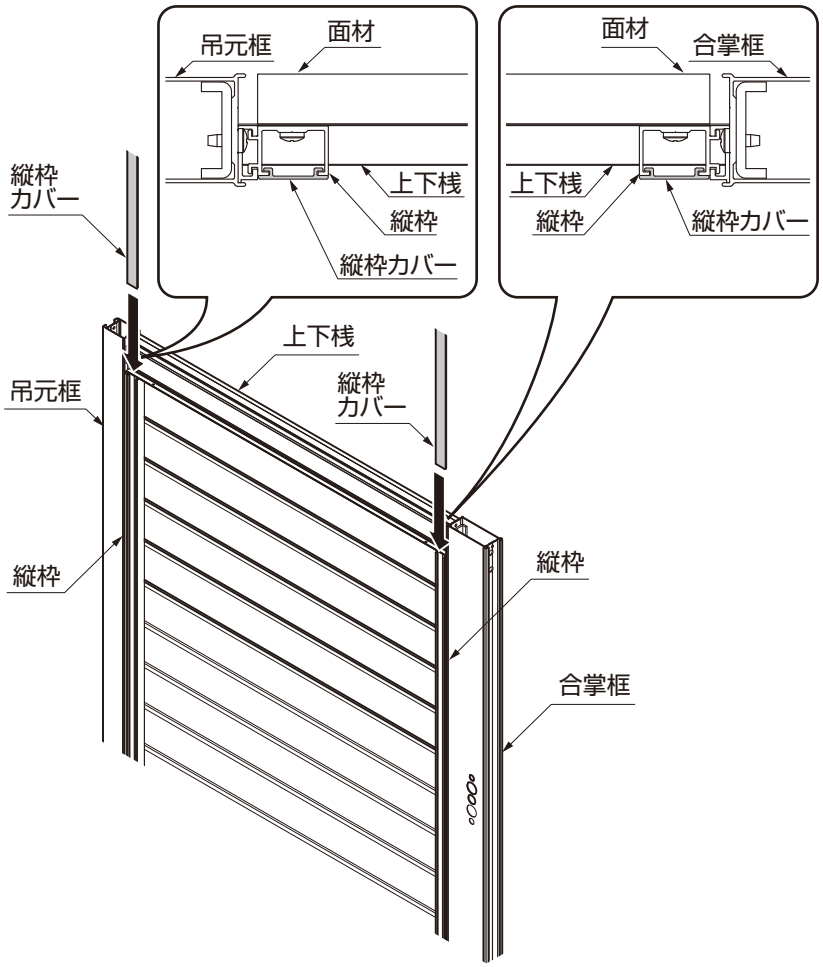
ポイント

●上下桟カバーと框とのすき間が左右均等になる位置で固定してください。

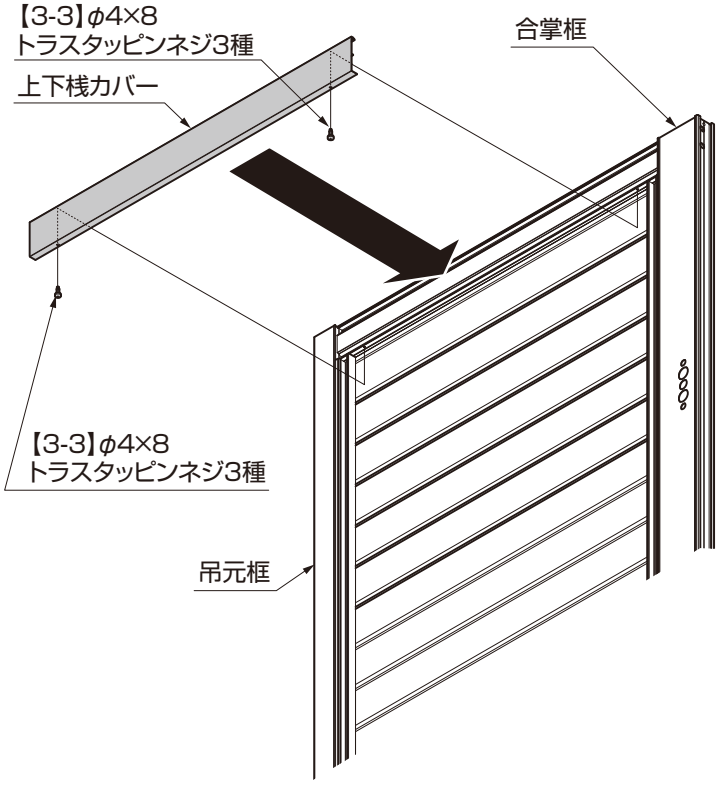
補 足

●上下桟カバーは門扉枠におさめるため、框間よりも短めに設定されています。

3.（つづき）



②縦枠カバーを縦枠に、スライドさせ取付けてください。



③上側の上下桟に、上下桟カバーをはめ込んで【3-3】で取付けてください。（図3-10参照）

ポイント

●上下桟カバーと框のすき間が左右均等になる位置で固定してください。

補 足

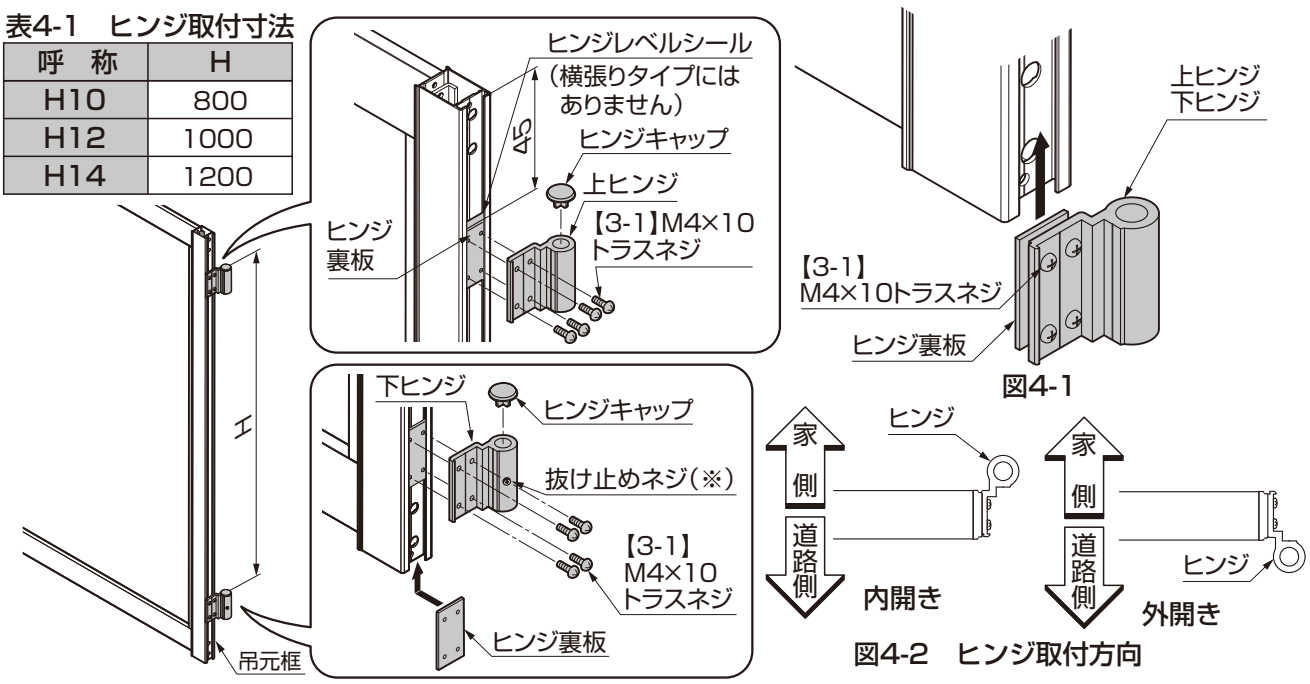
●上下桟カバーは門扉枠におさめるため、框間よりも短めに設定されています。

A540_201102A

4. ヒンジの取付け

表4-1　ヒンジ取付寸法

呼　称	H
H10	800
H12	1000
H14	1200



①ヒンジ裏板を吊元框にスライドさせ、各ヒンジを図に示す位置に【3-1】で固定してください。（表4-1参照）
②ヒンジキャップをヒンジに取付けてください。

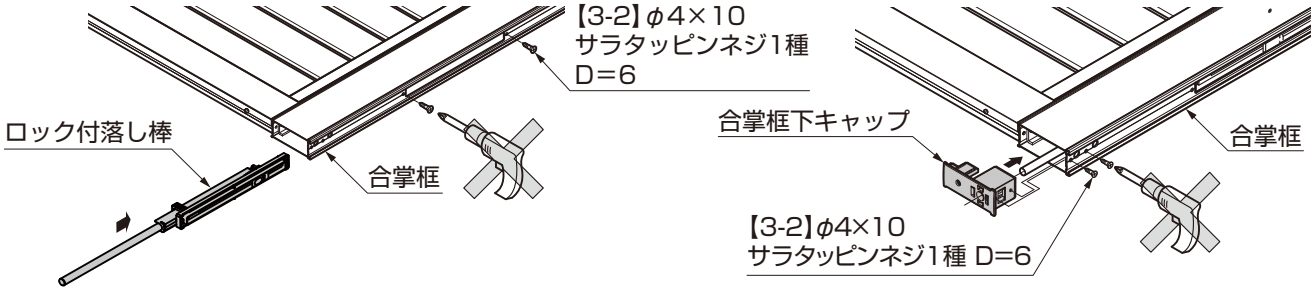
ポイント

- ●ヒンジには上ヒンジと下ヒンジの区別があります。
- ●抜け止めネジ（※）がついているヒンジが下ヒンジです。
- ●縦張りタイプの時、ヒンジレベルシールは上下に付いておりますが、上側になるヒンジレベルシール位置に上ヒンジ位置をあわせてください。また、下側になるヒンジレベルシールは剥がしてください。
- ●横張りタイプはヒンジレベルシールがありません。図の寸法にしたがってヒンジを取付けてください。

補 足

- ●あらかじめヒンジに、ヒンジ裏板を仮組みした状態で吊元框にスライドさせ、組付けると簡単です。（図4-1参照）
- ●ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。（図4-2参照）

5. ロック付落し棒の取付け



①落し棒を半分ほど下げた状態にして、ロック付落し棒を框内部に挿入し、【3-2】で取付けてください。
②合掌框下キャップを合掌框に挿入し、【3-2】で取付けてください。

注 意

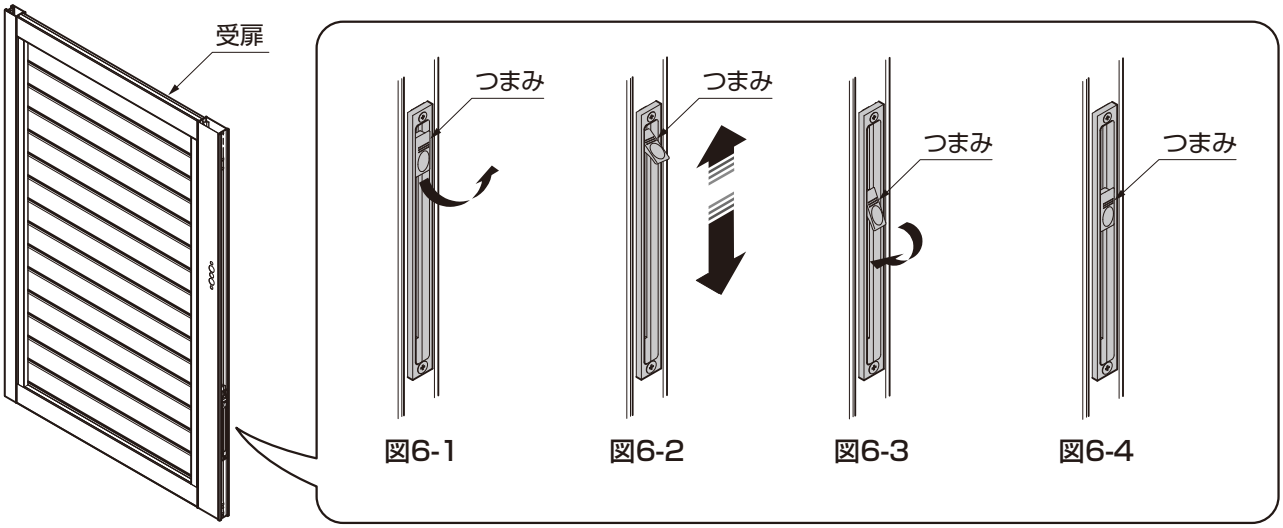
- ●取付け･取外しの際、形材の小口面でケガをしないよう、十分に注意してください。

ポイント

- ●ロック付落し棒、合掌框下キャップの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。

A540_201510F

6. ロック付落し棒の操作方法



①つまみを引き上げ、ロックを解除してください。（図6-1 参照）
②①で起こしたつまみをそのまま上下させて落し棒を操作します。（図6-2 参照）
③ロック付落し棒の位置が決定したら、つまみを元にもどしてロックしてください。（図6-3 参照）

ポイント

●ロック付落し棒操作時以外は、ロック状態にしてください。（図6-4 参照）

7. 戸当りの取付け

7-1 戸当り挿入

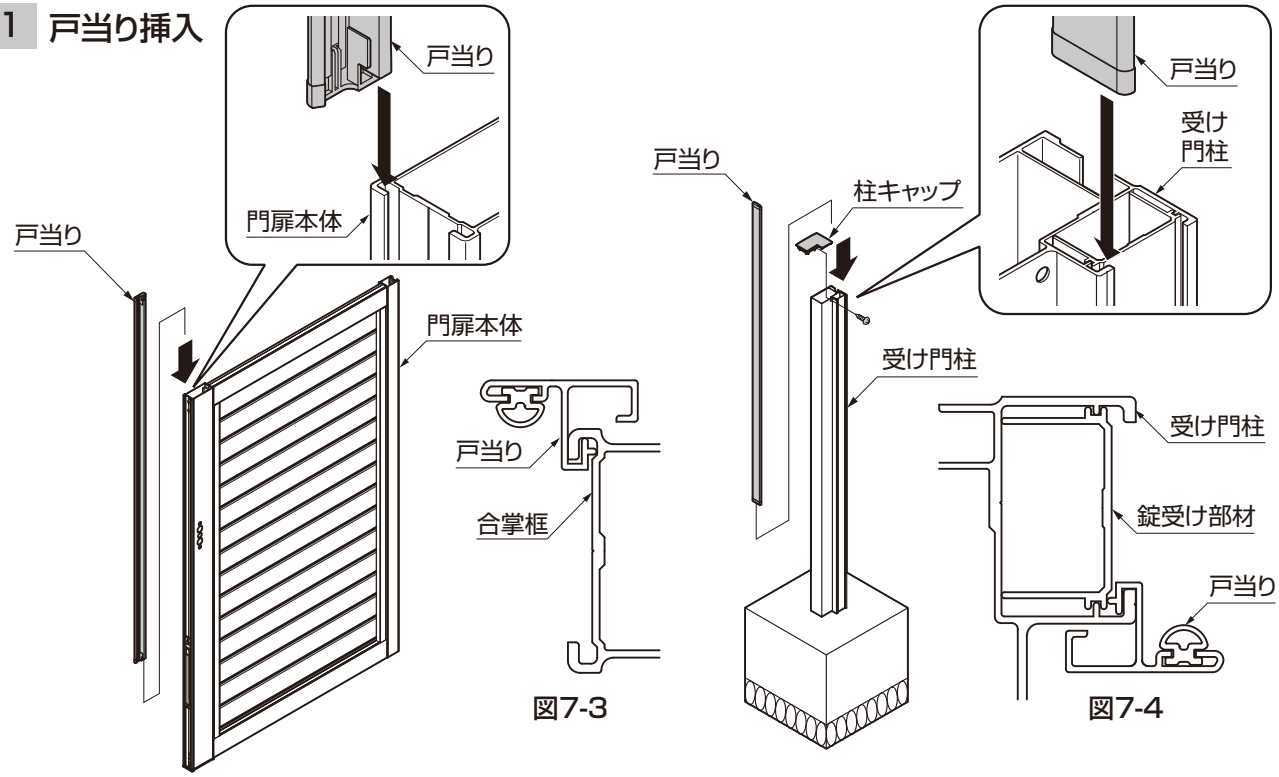


図7-1　合掌框につける場合　　図7-2　受け門柱につける場合

① 合掌框キャップ上または、柱キャップを取外してください。（図7-1、図7-2参照）
② 合掌框または、受け門柱に戸当りを上から差し込んでください。（図7-3、図7-4参照）
③ 合掌框キャップ上または、柱キャップを取付けてください。（図7-1、図7-2参照）

A540_201510F

7-2 下穴加工

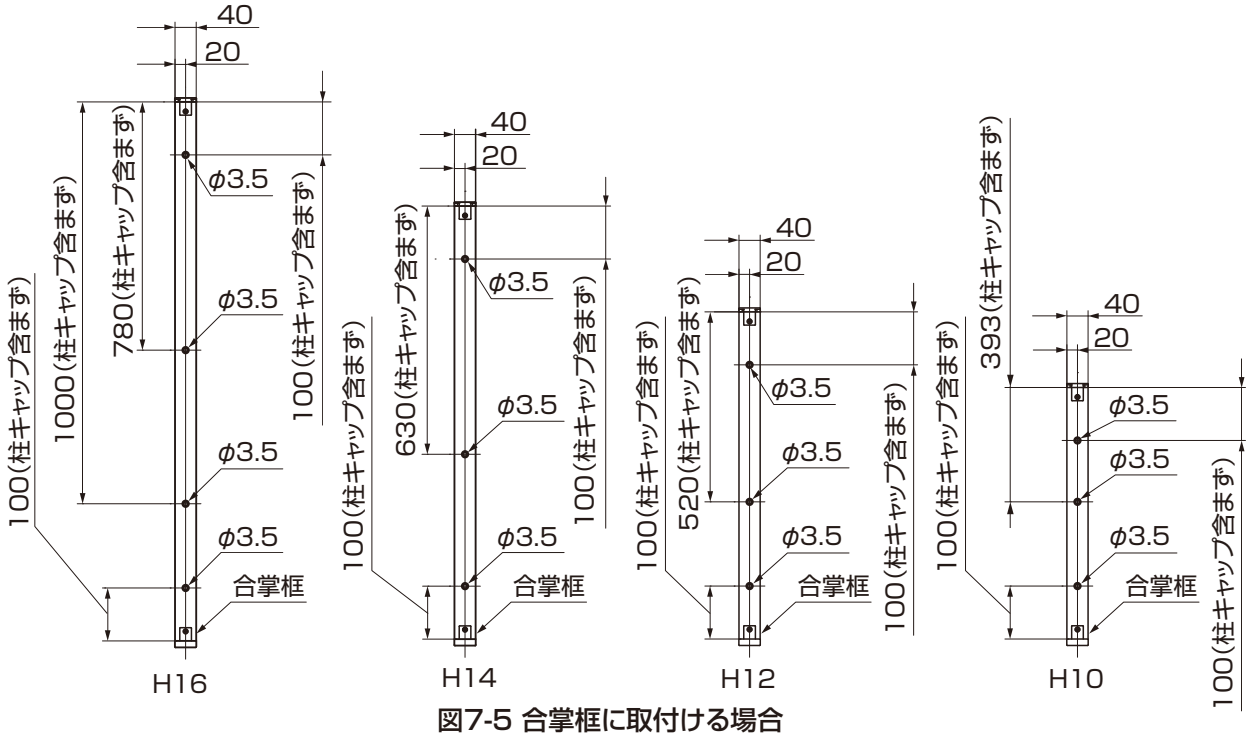


図7-5 合掌框に取付ける場合

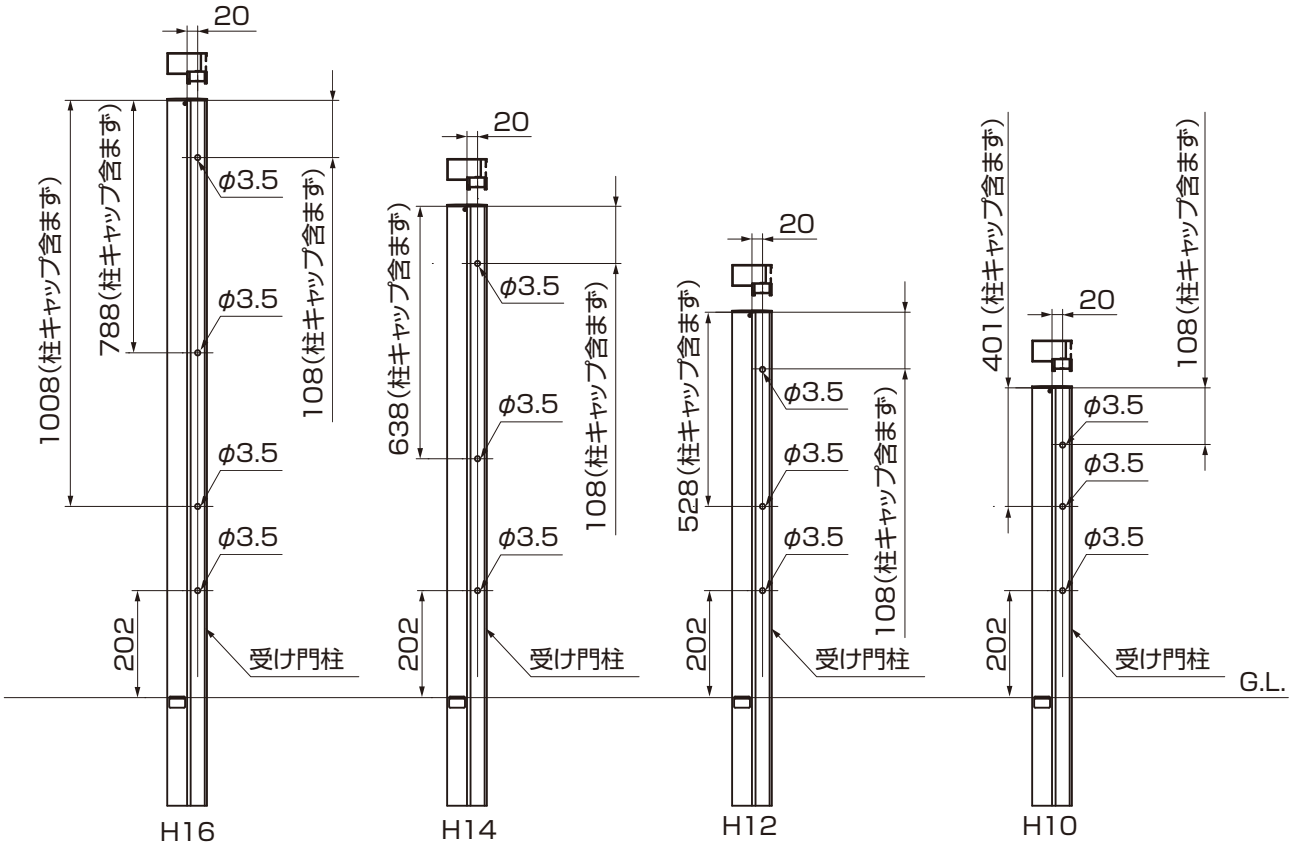


図7-6 受け門柱に取付ける場合

① 合掌框または受け門柱の錠受け部材にφ3.5の穴をあけてください。

7. 戸当りの取付け（つづき）

7-3 戸当りの固定

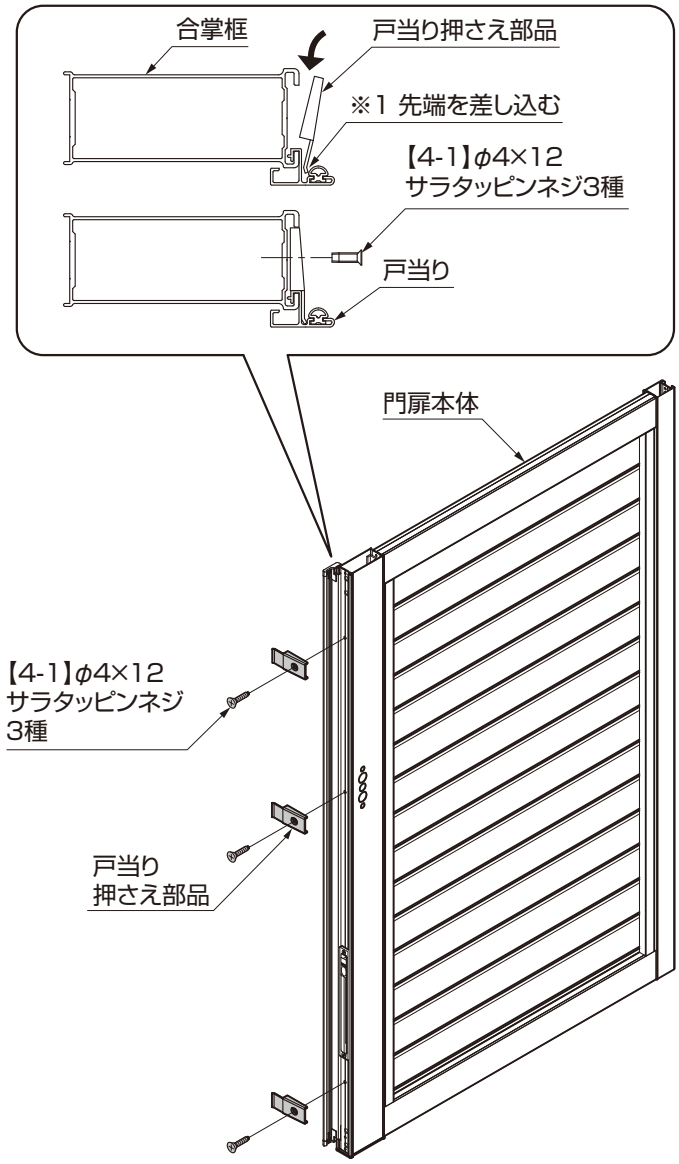


図7-7　合掌框につける場合

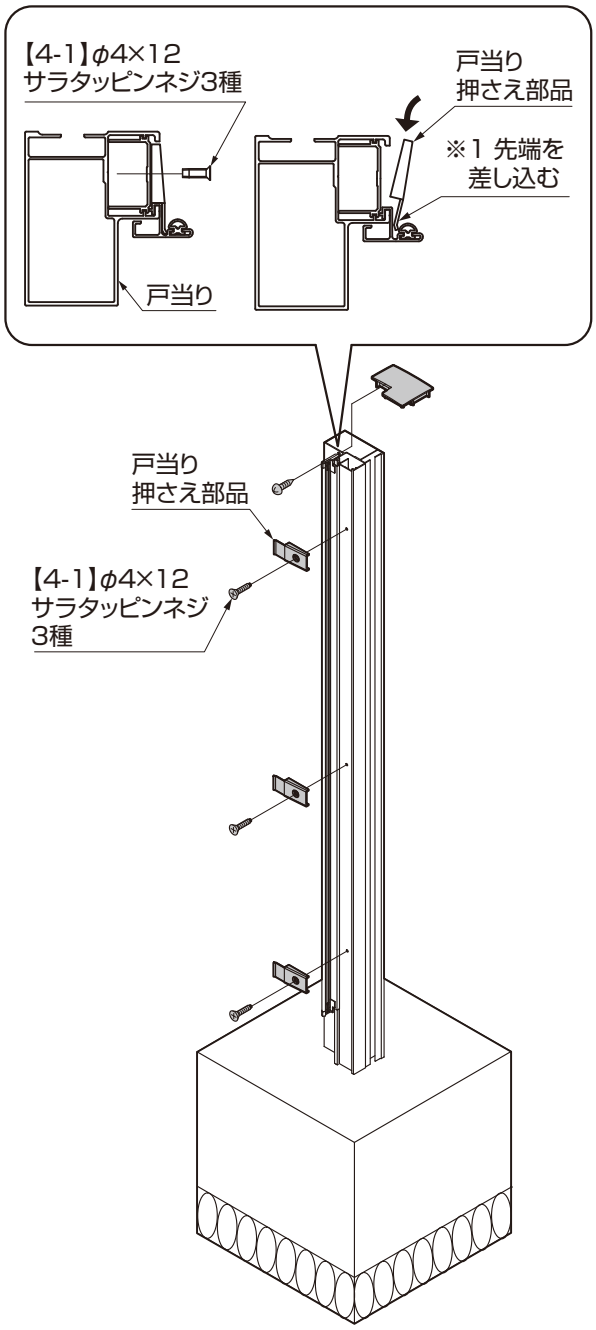


図7-8　受け門柱につける場合

① 戸当り押さえを戸当りの溝に差込み（※1）ながら挿入して、【4-1】で取付けしてください。（図7-7、図7-8参照）

ポイント

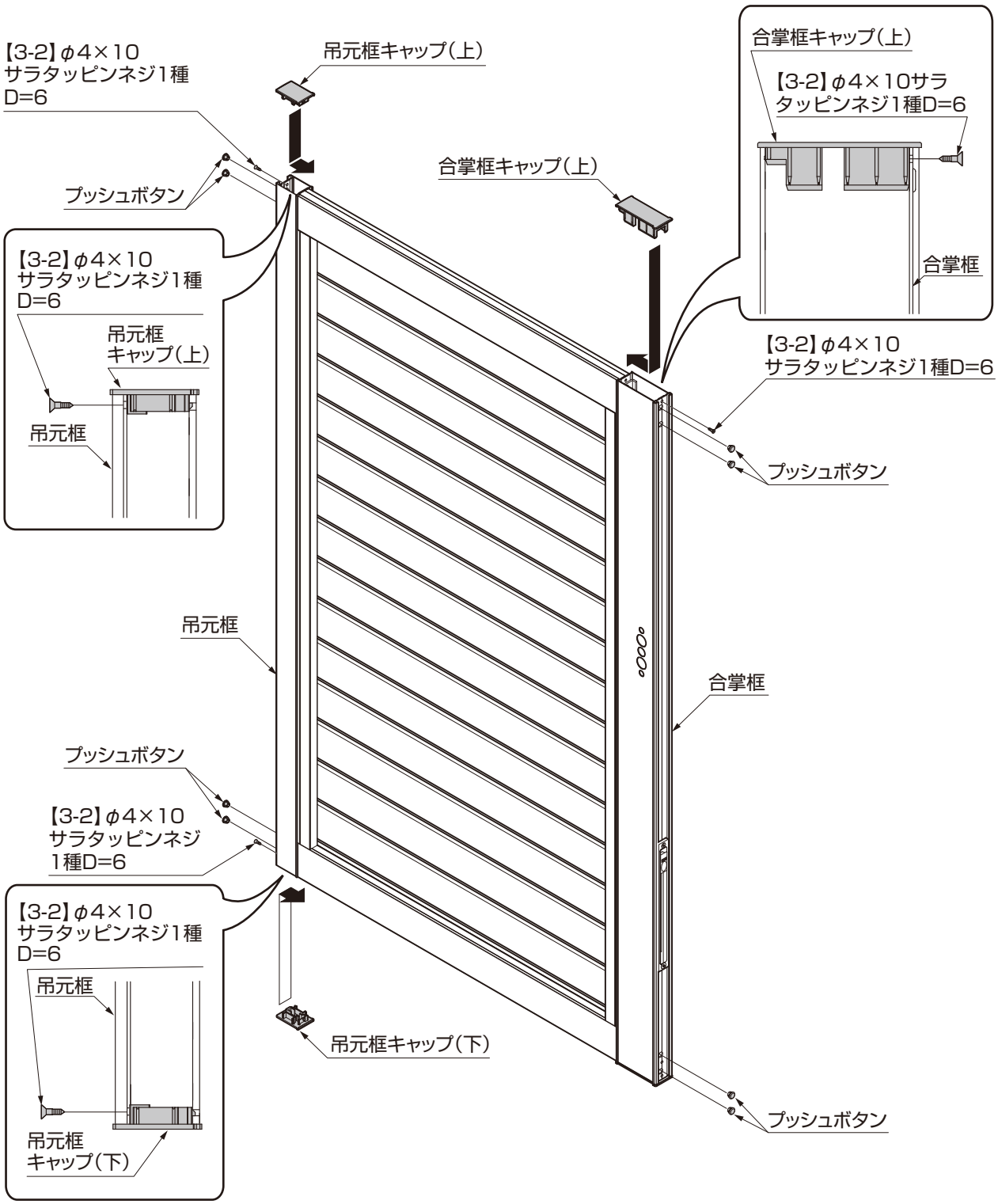
- ●戸当りは道路側に取付けてください。
- ●合掌框または受け門柱へは、下穴φ3.5を開けてから取付けてください。
- ●戸当りは扉本体より少し短い設定となっています。戸当り上面と合掌框または受け門柱の上面を合わせて取付けてください。

補 足

- ●合掌框および受け門柱には戸当り取付け用の穴加工はありません。
- ●戸当りの取付位置は、「1.基本寸法と各部名称」を参照してください。

A540_201510F

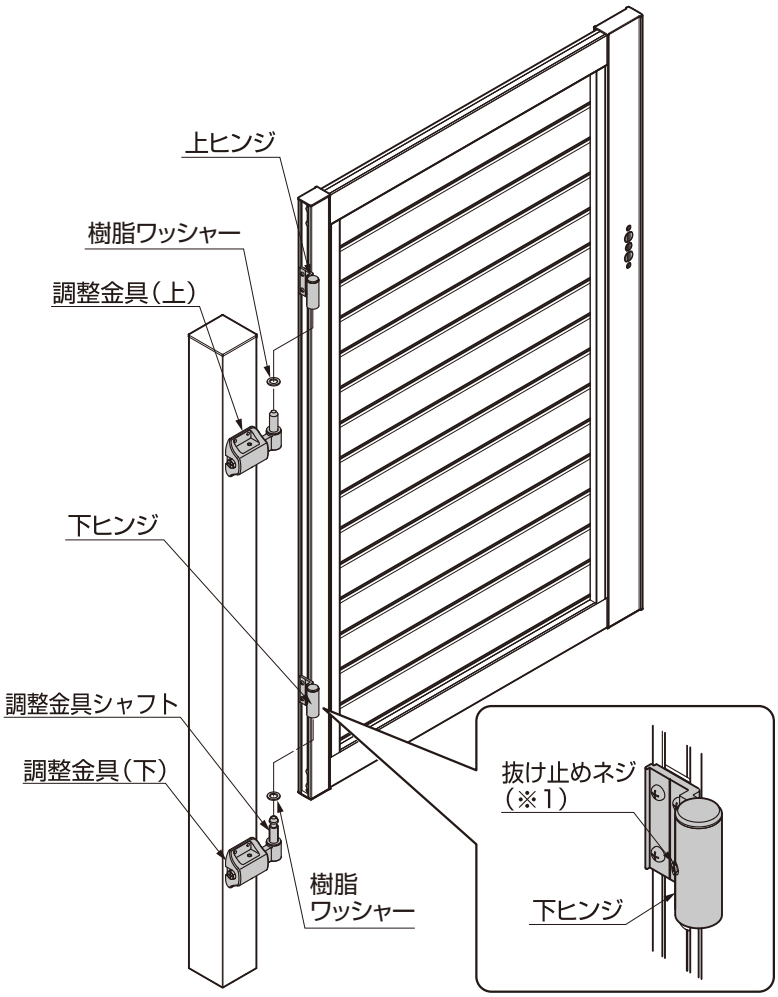
8. 框キャップの取付け



①合掌框キャップを【3-2】で取付けてください。
②吊元框キャップを【3-2】で取付けてください。
③プッシュボタンを合掌框と吊元框に、押し込んで取付けてください。

A540_201510F

9. 門扉の吊込み



①下ヒンジの「抜け止めネジ（※1）」をゆるめてください。

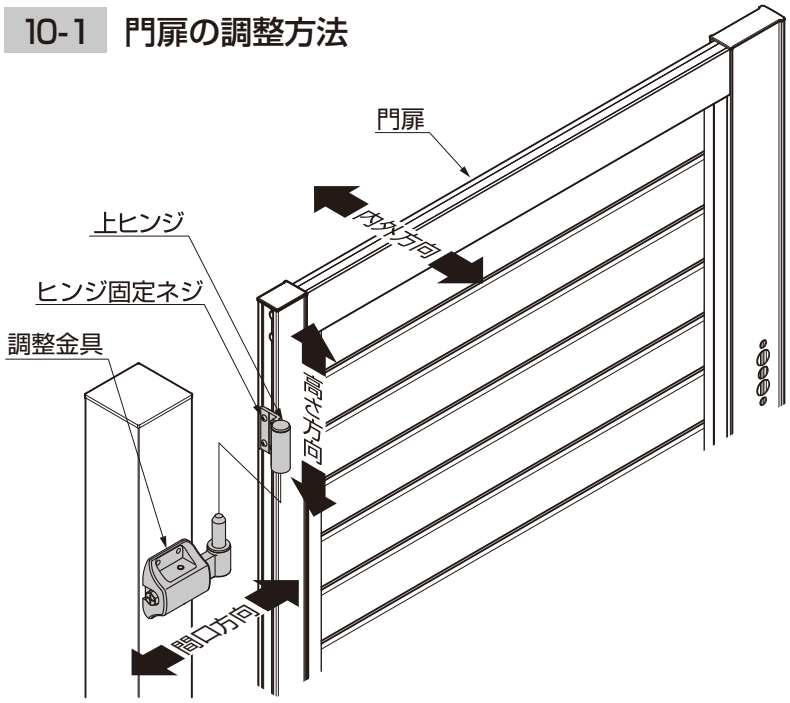
②門柱に同梱の樹脂ワッシャーを、調整金具シャフトに取付けてください。

③調整金具シャフトに上ヒンジ、下ヒンジを差込んで、門扉を吊込んでください。

④下ヒンジの「抜け止めネジ（※1）」を締め込んでください。

10. 門扉の調整

10-1 門扉の調整方法



①高さ方向の調整方法は、ヒンジ固定ネジをゆるめ、ヒンジをスライドさせて調整してください。

ポイント

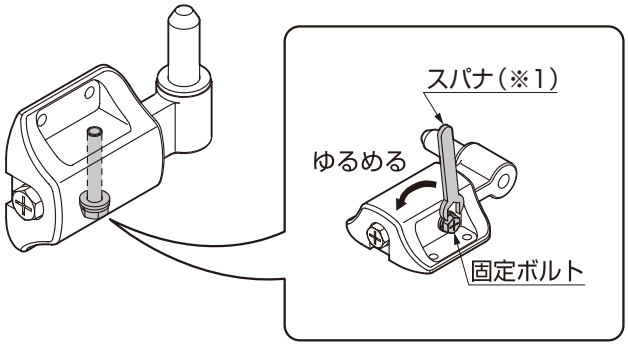
●門扉とG.L.のすきまは90mmが標準です。

②間口方向および内外方向の調整方法は、「10-2調整金具の調整方法」により調整金具で調整してください。

A540_201503E

10-2 調整金具の調整方法

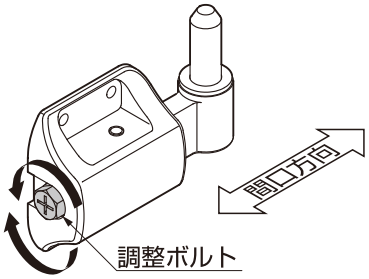
※固定ボルトは必ず呼び10のスパナを使用してください。（※1）



①「固定ボルト」を呼び10のスパナでゆるめてください。

ポイント

●「固定ボルト」を締めたまま間口寸法を調整すると「調整金具」が破損します。



②「調整ボルト」をまわして、図10-1、図10-2のようにチリ寸法を5±1mmに調整してください。

ポイント

●上下のチリ寸法およびねじれがないように調整してください。

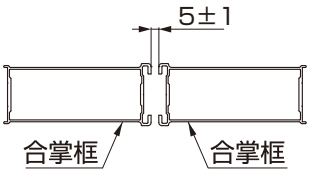


図10-1

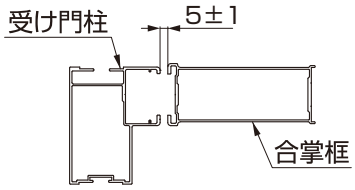
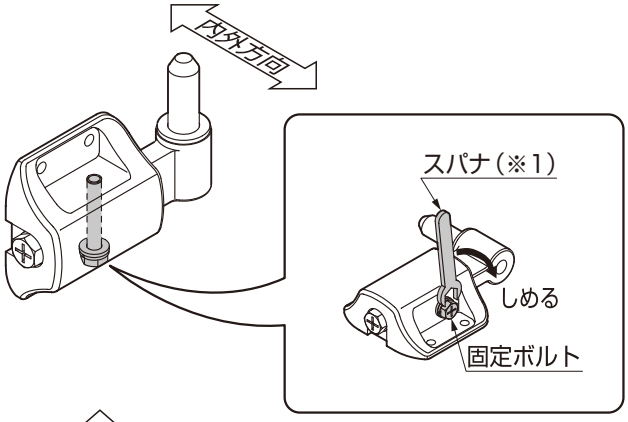


図10-2



③内外位置を決めたあと、「固定ボルト」を呼び10のスパナで締付けてください。

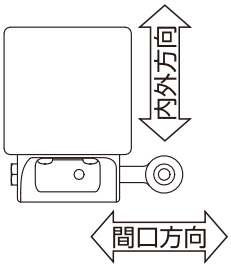


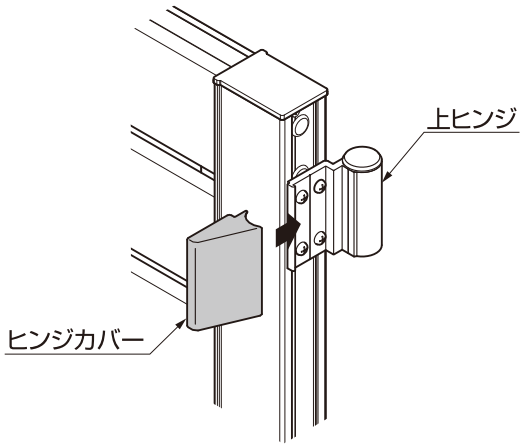
表10-1　調整範囲

内外方向	±4.5
間口方向	±8.5

補足

●調整範囲は表10-1を参照してください。

11. ヒンジカバーの取付け



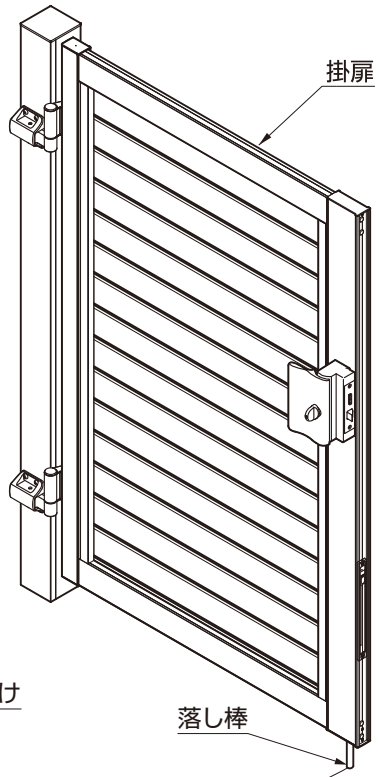
①上ヒンジと下ヒンジに、ヒンジカバーをはめ込んでください。

ポイント

●ヒンジカバーを挿入するときに「パチン」と音がすることを確認してください。

12. 落し棒受けの施工

12-1 片開き



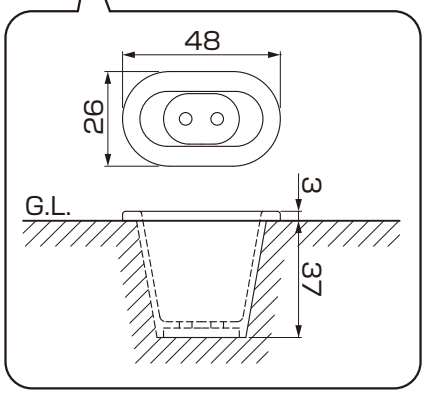
①掛扉を開いた状態で落し棒を収める位置に、落し棒受けを施工してください。

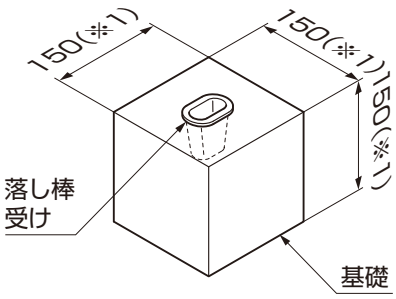
ポイント

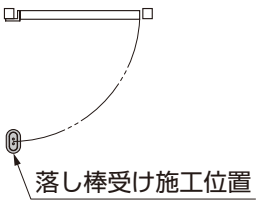
●落し棒受けの埋込位置は、現場合わせで施工してください。
●基礎寸法は指定寸法以上にしてください。（※1）

補 足

●錠の取付説明書を参考に、錠を取付けてください。

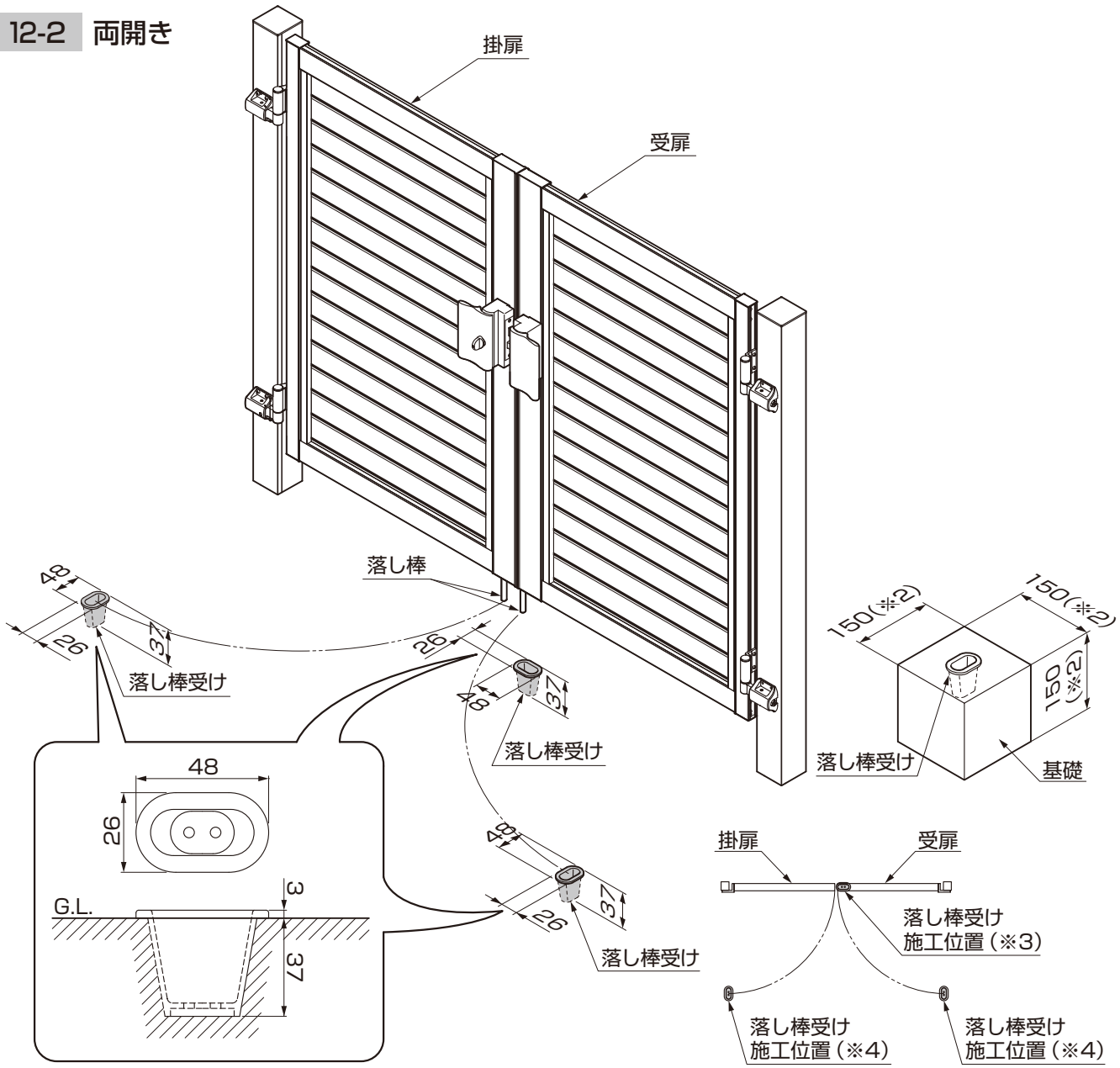






A540_201510F

12-2 両開き



①受扉を閉めた状態で落し棒を収める位置に、落し棒受けを施工してください。（※3）
②掛扉および受扉を開いた状態で落し棒を収める位置に、落し棒受けを施工してください。（※4）

ポイント

●落し棒受けの埋込位置は、現場合わせで施工してください。
●基礎寸法は指定寸法以上にしてください。（※2）

補 足

●錠の取付説明書を参考に、錠を取付けてください。

A540_201503E

メモページ

メモページ